

会合に先立ち、新設完成の母校の姿を閲覧し、往時の日本一小さな姿を忍び、大発展の今を確認し、喜びたいと思います。“米寿”を目指して、諸氏のご健康を切に祈りつつ。

(福島 清)

### 昭和28年卒業（千葉薬28会）

平成17年の同期会は、3月17日水戸の笠原兄にお世話になり、偕楽園の梅の花を堪能しながら、積もる話に花を咲かせました。未だに現職で活躍されている方が半数以上の為もあって、参加者12名、(写真後列左から)幹事の笠原、鶴田、高橋(明)、加藤、飯田、新井、林、岐部、(前列左から)尾中、亀田、進藤、鈴木(豊)の諸兄が集まり、久方振りの再会を楽しみました。

今年はカナダに移住している桑原君が帰国するとの事で、帰国を待って同期会を開く事にしています。

(尾中 喜代治)



### 昭和31年卒業（三一會）

毎年クラス会を開催する習慣は、まだ維持されている。70歳の坂を越えると一病息災を目指す状態となっているが、クラス会の度毎に全員、卒業した年齢まで若返っている。平成17年のクラス会は、環境のよい箱根の温泉と新しい美術館めぐりとなった。卒業後半世紀となる平成18年のクラス会は、東京で開催する予定であり、参加者が多いことを願っている。(星 昭夫)

### 昭和32年卒業（32会）

昨年10月16日に横浜中華街でクラス会を行った。札幌、金沢及び大阪からの参加者を含め、21名が集い旧交を温めた。

みなとみらい線の開通で、東京からのアクセスが良くなった。そして大勢の人で賑わう中華街大通りも、改修されバリアフリーになり歩きやすくなった。

今年3月2日の定例会は数奇屋橋のニュートー



千葉大学薬学部32会  
2005/10/16 跨珍樓横濱本店

キヨで行ったが、卒後50年になる来年は遠くに出かける計画が進行している。

(中村 良輔)

### 昭和33年卒業

五月晴れに恵まれた平成17年5月29日、恒例のクラス会を行った。場所は今も昔も訪れる人の絶えない下町・浅草。前年同様29名(約7割)の参加を得て旧交をあたためた。

催しは三部から成り、第一部は「浅草界隈歴史・文化散歩」と銘打ち、約2時間、鈴木としお氏(浅草を語る会会長)の案内で浅草寺・浅草神社(三社様)境内の建造物や史跡・石碑などを見学。さらに江戸歌舞伎のメッカ・猿若三座跡、待乳山聖天に足をのばした後、新緑の隅田公園内を隅田川沿いに歩いて戻る。第二部は吾妻橋を渡り、対岸のアサヒビール系レストラン「ラムドール」にて交歓会を持つ。散策の後で喉も渇き、特製地ビールで乾杯。3時間後、相当人数が再度隅田川を渡り第三部(二次会、ホテルニュー漁眠荘)へと流れ、歓談・カラオケなどに興じた。なお世話役は石濱洋、岡田清三郎、大島の3名が担当した。

(大島 幸助)

### 昭和34年卒

紅葉の最盛期に京都で集まつた。場所はJR嵯峨嵐山駅前の宿で、前日から2泊が11名、当日は計19名、おまけに翌日、花園での宿泊が7名で、フルコース3泊が5名であった。

宿はいずれも1年前から予約をしており、紅葉の進行具合が心配されたが、丁度最盛期に当たり、前後寒波の間の温暖で好天気とこれ以上望めない条件に恵まれた。

宴会の翌日、常寂光寺、祇王寺、化野念仏寺など奥嵯峨の紅葉を満喫し、昼食は創業400年のあゆ茶屋で、紅葉を愛でながら湯葉と豆腐の料理を楽しんだ。

卒後46年を経ても、会えば互いに学生時代の気分に戻り、古の都人にまつわる寺々を巡って、無信心の人も多少仏心に触れたことと思う。少々盛沢山の行程と人出の多さで、慌しかったが、好天気の紅葉と京料理や精進料理を賞味して、心身ともにヘルシーな集いであった。

(野村 幸一)

### 昭和35年卒業（珊瑚会）

6月12日雨季の合間、運よく晴れ上がった日に東京の新しい観光スポット六本木ヒルズに14名の元気な老人が集まりクラス会を開催いたしました。ホリエモン



## Letters from Alumni

で有名になった六本木ヒルズの見所を約30分間のガイド付きで効率良く散策した後、六本木ヒルズの目玉、海拔250m360度の展望を誇る展望台から東京の景観を堪能しました。ヒルズ内の毛利庭園で記念写真を撮った後、ヒルズ内のホテルグランドハイアット東京にて和気あいあい皆様と楽しい一時を過ごし、来年皆元気に再会できることを誓い解散しました。(前田 孚)

### 昭和36年卒業（三六会）

例年、クラス会は各地の名所旧跡を訪ねて開催されてきましたが、昨年は11月12～13日に福島県と茨城県の県境に近い「袋田の滝」を訪れることになりました。参加者は例年より少ない8名。途中、水戸の偕楽園に立寄り、袋田の宿「豊年万作」には夕刻に到着。宿の正面からは、夕陽に映える切り立つような岩肌を黄や紅の紅葉が包み込むように囲む光景が眺められ、まさに一幅の絵。暗くならぬうちにと荷物を宿に置き、急ぎ滝の見物へ。滝はずんぐりと重量感があり仲々美事です。

夕食時にはお互いの近況を語り合い、夜遅くまで話に華が咲きました。男性群の半数以上はまだ元気に仕事を続けており、女性群も元気で、コーラス、山など歌に生き、趣味に生きと素敵な日々を送っている人もいます。

なお、7月に脳梗塞を発症した李功固君の容態は如何ばかりかと心配されましたが、中山君が台湾出張の折李君を見舞ってくれ、その話によると半身不随ではあるが、パソコンは打て、命に別条ないとのことで皆ホッと一安心。当夜の語らいは、ほんのりと心温まる懐かしさで、まさに値千金の思いです。その後、平成18年1月には、あの心優しい宍倉（旧姓曲）さんが薬石効なく天国に召されました。あゝ美人薄命。惜しみても余りある身！ (林 耕)



### 昭和37年卒業

前年度のクラス会の時、今後のクラス会は「毎年10月の第4日曜日に開催」ということが決まり、平成17年度は10月23日（日）、場所は前回と同じJR有楽町駅の近くのLa Stellaで開催されました。開催日時が早



くから決まっていたことが功を奏してか、出席者は23名の多数となり、賑やかな楽しい会となりました。仕事の事、趣味やボランティア活動の事、加齢と共に増す健康上の問題、肉親の介護の問題等々、話は尽きず2時間が非常に短く感じられました。

写真は当日撮影したものです。 (池田 守男)

### 昭和38年卒業（三葉会）

昨年のクラス会は地元の荒木さんにコースの選定等にご尽力頂いて青森で開催しました。初日は三内丸山遺跡等を見学してから八甲田山麓の城ヶ倉温泉泊、二日目は鳴子温泉、奥入瀬渓流を散策、十和田湖遊覧、落合の「こけし館」を経て南田温泉泊、最終日は弘前公園や「ねぶた村」等を見物してから帰京というのんびりとした行程でしたので新緑の津軽を堪能しながら存分に旧交を温めることができました。まだ現役のため日程の都合で欠席の方もあり今回は19名の出席でした。そろそろ全員が介護保険の被保険者証をもらう年齢にもなりましたが、お世話になる前に動ける時に動き、会える時に会っておきたいものです。さて、今年のクラス会は重枝、谷両氏の幹事で横浜方面で、又、来年は鍋島さんの地元の飛騨高山方面での開催を予定していますのでよろしく。

(鰯見 常夫)



### 昭和39年3月薬学部卒業クラス

今年はトリノ五輪で盛り上ったが、私達のクラスで卒業した年も、その秋に東京五輪を控えて、早くも春から盛り上っていた。東京五輪の開会式当日、ジェット機編隊が東京の青空に美しい五色の五輪マークを描いたことを今でも鮮明に覚えている。卒業時はクラス全員で36名であったが、その後、若くして渡久地君が他界され、現在はわずか35名のクラスである。直近のクラス会は2年前に千葉で開かれたが、クラス員の約半数が出席して盛会であった。既に全員が60歳代の半ばになっており、定年後の第2の人生を楽しんでいる人も結構多い。一方、定年が遅い大学人では、長年のボリアミン研究の業績により、今春、薬学会賞に輝いた千葉大（薬）教授の五十嵐君、現在、明治薬科大学学長の要職にある久保君などが今でも元気で活躍されている。次回のクラス会でも、皆が健康で顔を合わせたいと願っています。

(藤本 治宏)

### 昭和42年卒業

平成16年6月にクラス会を開催して、はや1年8ヶ

月。平成17年には皆さんは全て還暦に向かえ、大部分の人は定年退職となつた。第二の人生は様々。悠々自適の人、まだまだ一花を咲かせようとの人、地域医療に貢献の人、現在わかる限りでは我クラス44名は仕事派（パートを含む）が7割以上と推定される。さてちらほら風の便りに聞こえてくるのは「膝が痛い」「腰が痛い」「フトコロが痛い（一寸違うか）」「疲れが取れない」「物忘れが・・・」との健康に関するものが多い。勿論T君の野良仕事にバリバリ、K君の休日は野山を駆け巡る（徘徊とは違うぜ）、O君のフルマラソンなんのその、の様な鉄人もまだまだ多いが。さて来年は卒後40年の節目の時なので是非ともクラス会をやろうと、準備に取り掛かりつつある。（齊藤 弘）

### 昭和51年卒業

平成17年6月11日、西千葉でクラス会を2年ぶりに開催しました。案内状に「西千葉キャンパスの薬学部が見納めかも・・・」という文面が効いたのか、24名の同期の方が出席されました。集合場所の薬学部正面玄関前では、入学当時を思い出しながら集合写真を撮り、それから、タイムスリップしたような気分で校内を散策しながら西千葉駅近くの割烹鮨屋へ到着、開宴となりました。懐かしい顔ぶれでランチを食べながら、近況報告を交えた2時間があつていう間に過ぎていきました。話し足らなかったのか、ほとんどの出席者が大学正門近くの喫茶店に移動し、ケーキを食べながら二次会がスタート。更に、帰路を気にしつつ西千葉駅前の小さな酒場を占拠して三次会へと突入。いつしか夜となり、再会を期して散会。ちょっとセンチな気分に浸った一日がありました。次回は、平成19年の秋に開催予定です。次の幹事（栗原、内川、藤井）さん、よろしく。（千葉 勝由）



### 昭和56年卒業

表題：月日は過ぎても

先達の格言を引用するまでもなく本当に瞬く間に時は過ぎ、数えれば千葉大学を卒業してから25年もの年月が流れてしまいました。それでも、若き日々は毎日が新鮮なことの積み重ねのせいか、今でも鮮烈なものとして記憶されていることばかりです。

その1・・わたくしが所属していた生薬学の研究室は図書室のま上。いくたびか純水製造装置（現在の装置とは全く違う（！）ものでしたが）から漏水を起し、その度に司書の方からひどく叱られました。萩庭大先生がひとこと「〇〇〇飛び込む水の音・・・」というこ

とだな」。寛大なお言葉に感謝しております。

その2・・実験にいき詰まるに行くところ＝薬草園。何の施策も浮かばぬまま、ふらふらとよく散策したものです。名前の消えかかった薬用植物のラベルが目に浮かびます。

その3以降はまた機会を頂いた際にと致します。卒業後は東京の化粧品研究所で勤務を続けておりますが、何となく千葉のことを思うとそちらから暖かい風が吹いてくるような気がいたします。（小出 千春）

### 平成2年卒業

90年卒業の皆さん、お元気ですか？

さて突然ではありますが、大学入学20周年を迎える今年、久々の同窓会を開催します。

・・・びっくりしましたか？

まあ現時点で原稿を書いている私しか開催の事実を知らないですし、時期も場所も全くの未定な訳ですが、この原稿が日の目を見る頃には、何らかお知らせする事ができるかと。期待せずに待っていて下さい。

（86P1003B あさだ）

### 平成11年卒業

青年海外協力隊員として2004年4月よりパキスタン・イスラマバードの国立病院で養父美亜子さんは薬剤師の仕事をされています。昨年10月のパキスタン大地震の際も同国におられました。その際、「ニュースで見る悲惨な映像が毎日の現実生活と結びついてしまうことはひどく辛く悲しいことです。復興に向けてパキスタンの人たちと共に踏ん張っていかなくてはなりません。」との連絡があり、一瞬の地震を境に災害医療の現場に変わってしまったパキスタンで頑張っていらっしゃいます。（久我 宏彰）

## 支 部 だ よ り

### ● 東京支部

2年毎の東京支部総会を平成17年11月25日（金）、日本橋俱楽部で行った。45名程の参加があった。薬友会会長、山本恵司教授より、未だに新校舎が完成出来ずには残念であるが、文科省からの大学院Good practiceの採択や寄附講座の設置など、新しい行政法人化大学としての発展が期待される。また、厚労省審議官、黒川達夫先生より、新しい薬剤師の意識と行動について、最近の話題など興味深い話があった。講演後、恒例の懇親会での情報交換で盛会裏に終了した。幹事の方には、毎回何かとご協力を頂き御礼申し上げる。次回、平成19年には多くの卒業生のご参加を期待している。

（渡辺 楠）

### ● 千葉支部

平成17年度としては千葉支部として特に活動は行ないませんでした。一昨年は講演会と新校舎見学会を行い、毎年同時期に開催しようとの話もありましたが、

平成18年度は是非とも講演会他を計画したいと思います。千葉支部としての名簿を更新し、行事案内などの連絡体制の整備も図りたいと考えています。

これからも千葉支部としてより活発な活動計画を立て実施していきますので、ご参加の程お願いします。

(千葉支部事務局・中村 英雄)

## ゐのはな山岳会

ゐのはな山岳会は原則として毎月1回の山行を実施しています。2005年の山行は、1月から順に丹沢大山、金冠山・達磨山、吉野梅林・三室山、曲岳・黒富士山、神石山・葦毛湿原、城山、乳頭山・秋田駒ヶ岳、志賀高原・笠ヶ岳、奥千丈岳（台風のため観光に切替）、榛名山（写真）、鳴神山、天覧山・多峯主山でした。参加者は41人、延人数は184人でした。この他に納涼会と忘年会で親睦を深め、白馬岩岳のスキーと雪上トレッキングも恒例となりました。今年の年間山行計画も決定しておりますので、お気に入りの山行があれば気軽にご参加ください。

なお、ゐのはな山岳会の有志は、独立法人国立科学博物館（つくば市）に寄贈された萩庭さく葉標本の整理も行っております。こちらのお手伝いも歓迎いたします。

(石井 靖男)



## 亥鼻会

亥鼻会は原則として毎年2回開催されることになっています。第25回亥鼻会が平成17年4月14日に昭和33年卒の大島幸助氏を講師に迎え開催されました。テーマは「古典落語と薬の周辺」の題で、約1時間の講演をいただきました。漢方薬とか「ガマの油」のお話など大変興味深い話で出席者22名皆熱心に聴く事が出来ました。第26回は、10月18日、16年卒の安田英夫氏に「企業から見た改正薬事法」の題で講演をして頂きました。春に薬事法が改正されたばかりの折り、時期に合ったお話で有意義に聴く事ができました。出席者は同じく22名であります。次回の第27回は、平成18年4月13日に20年卒で日本旅のペンクラブ会員の藤井常男氏に「車窓から見た植物風景」の題で講演をして頂く事になっています。（幹事 昭和23年卒 井上富夫）

## サークル紹介

### 千葉大学薬友会ゴルフ

昨年の会報でご報告した薬友会ゴルフも2年目を迎え、第3回（17. 4. 15）、第4回（17. 10. 4）大会を予定通り横浜の磯子C.C.で開催致しました。新たに錦織幸雄氏（S26卒）、高橋哲夫氏（S36卒）が加わり、現在会員は22名です。

◎第3回 優勝 池田守男 準優勝 平野武明 3位 村瀬一郎（新ペリア）

◎第4回 優勝 池田守男 準優勝 村瀬一郎 3位 横田友三郎（：）

然し成績は二の次で、元気にプレーが出来て、楽しく懇談をして縦の繋がりを深める事が目的でやっております。ご賛同の方は下記にご連絡下さい。

『幹事』原口克介氏（S38卒）電話：03-3720-7571  
今年の第5回は4月14日（金）、第6回は10月中旬を予定しています。

『写真』第4回大会参加者 前列左より重枝（S38）、三浦（S23）、渡邊（S33）、原口（S38）、後列中島（S22）、池田（S37）、村瀬（S38）、小川（S34）、神崎（S34）、錦織（S26）、横田（S38）、荒木（S40）  
(世話人:三浦 清)



### 薬学サッカー部

こんにちは、薬学サッカー部です！

私達は、主に週1回大学にあるサッカー場や、不定期ではありますが近くのフットサルコートを借りて練習しています。

サッカーというととても激しいスポーツという感じがして初心者には難しいように思えるかもしれないですが、この部活では初心者の方にも丁寧に指導しているので経験者・初心者問わず自由に参加してほしいと思います。

また他の全学のサークルとは異なり薬学部生のみのサークルなので、先輩・後輩の関係も深まり大学生活だけでなく人生について語り合えるので非常に良い経験になると思います。

サッカーという団体競技を通して仲間達と何かをやりとげるという達成感を得たい方、ぜひ一緒に汗を流しましょう！お待ちしております。

